

神室のいずみ

令和5年
3月号

山形県神室少年自然の家

〒999-5301 最上郡真室川町大字川ノ内字水上山 3414-5
TEL0233-62-2611 FAX0233-62-2613

冬満喫！ウインターフェスティバル開催

2月26日（日）に「神室ウインターフェスティバル」を開催致しました。県内各地から64名の皆様に参加していただきました。雪の小山から「かまくら作り」を始める子、バケツでの「スノータワー」を横に広げて「イグルー」作りを始める子、「雪迷路」で「鬼ごっこ」を始める子など、自由な発想で遊び方を工夫し、楽しむ姿が随所に見られました。

<プログラム>

- 1【出会いの集い】
 - 2【A】めんごスノーハイク
 - 3【雪遊び】
 - スノーチューブ滑り
 - 雪だるま作り
 - 丸太渡り
 - 4【玉こんタイム】
 - 5【別れの集い】
- 【B】雪山探検スノーハイク
～いろいろな雪の遊びを思い切り楽しもう～
- かつぞり
 - 雪だるま作り
 - 地面出し雪掘り
 - そりスレー
 - 雪迷路
 - スノーシュー&かんじき体験
 - 雪板
 - 雪玉ストラックアウト
 - 竹スキー
 - 雪の滑り台
 - かまくら作り
- 【おしるこタイム】



不便が人を教育する ～子ども達に豊かな体験を～

例年より早く雪解けが進み、神室の里山も木々の根元が見え始めました。今年度もたくさんの団体にご利用いただきました。自然の家は、確かに夏は暑く、冬は寒く、非日常の不便な生活ではありません。しかし、幼児からお年寄りまで、幅広い年代の利用者、最上郡内を中心に、県内各地からの利用者があり、「自然体験活動を通して大きな成果や豊かな学びがあった。」という感想をたくさん寄せていただきました。物があふれている時代だからこそ、不便が人を教育するとも言えます。自然の家に向け、貴重なご意見やご要望もいただきました。皆さまから、さらに愛される施設をめざして、職員皆で取り組んでいきます。今年度のご支援ご協力に心から感謝申し上げます。

1 今年度の施設利用状況から

コロナ禍ではありましたが、利用団体、延人数が前年度より増加しました。感謝申し上げます。来年度は是非、幼児の親子遠足、小学生のPTA親子行事、おすすめいたします。理由としては、幼稚園や保育所・小学校で利用した時に「自然の中で遊ぶことが楽しかった」という子ども達が、その後もリピーターとして企画事業に参加してくれたからです。自然体験活動の入門企画事業である「親子でかっぱだれ」「親子ふれあいキャンプ」へ参加する親子が年々増えてきています。まずは、「親子で気軽に自然体験ができる」これも神室少年自然の家の魅力の一つです。

<2月末まで>		(対前年比)
① 利用団体数	120 団体	(109.1%)
② 利用者実人数	4,195 人	(108.6%)
③ 利用者延人数	5,395 人	(109.5%)
④ 企画事業参加者数	672 人	
22 事業 (18 事業実施 4 事業中止)		

2 利用後アンケートから

<2月末段階のまとめ アンケート回収率84%>

項 目	大いに満足	ほぼ満足	やや不満	不 満
館内食について	71.0	28.0	1.0	0
職員の対応・支援について	96.0	4.0	0	0
研修施設について	83.0	16.0	1.0	0

「職員の対応・支援について」が高い評価を得ました。施設・設備は老朽化してきていますが、今後とも、より魅力的な環境やプログラム、職員対応を準備し利用者の皆さまをお迎えします。

3 神室少年自然の家からのお願い

学校・幼稚園・保育所等利用していただく方々と連携しながら、子ども達に豊かな体験を提供していくため、以下のことについてご協力をお願いいたします。

(1) ガイドセミナーには、ぜひ全日程参加を

事前に子ども目線で体験活動をすることで、子ども達への指導がちがってきます。

(2) 企画事業のチラシは、ぜひ一声かけて配布を

「おもしろそうだね。」「友達を誘って行ってみたら。」などの声かけをお願いします。

「子どもの頃の体験が豊富な人ほど、大人になってからのやる気や生きがい、モラルや人間関係の能力などの資質が高い。」これは、国立青少年教育推進機構の調査結果です。機構ではコロナ禍、子ども達の体験不足を解決するために全国規模で「体験の風を起こそう」運動をさらに展開しています。神室少年自然の家も地域の関係機関と連携しながら神室から改め「山形から体験の風を起こそう」運動を来年度も引き続き広めていきます。知徳体がバランスよく調和し、自立した一人の人間として社会に貢献できる「人間力」を持つ人を育てていくために、**来年度もどうぞよろしくお願いいたします。**

